



子供に届く言葉掛け、気を付けたい接し方・叱り方

学校でも家庭でも、子供を適切な行動へと導くために、言葉掛けや接し方について日々考えさせられることが多いと思います。「叱るより、ほめなくては」と分かってはいても、実際はなかなか難しいものです。子供への言葉掛けや、接し方・叱り方のヒントについて、最近読んだ本に書かれていた内容を紹介합니다。

・・・子供の心に届く言葉掛け・・・

- ①どのように行動するかを具体的に。行動の(後よりも)ちょっと前に。
- ②「～しない」より、「～する」で伝える。例：「大声を出さない!」⇒「このくらいの声で話すよ。」
- ③短く、分かりやすく伝える。

・・・注意したい接し方・叱り方・・・

- ①クラグ型
芯のないクラグのように、その時々で叱る基準やタイミングがバラバラな叱り方です。どのような行動がよくて、どのような行動がよくないのか子供に分からないため、大人の顔色をうかがうようになります。
⇒ルールをしっかりと決めて、必要なときだけ叱るようにします。
- ②イエローカード型
「〇〇したら××です」と警告をたくさん出すタイプ。警告しても実行しないので、子供は「ハッター」とみなして、効力が徐々に低下します。
⇒本当にしてほしくないことをレッドカード(即時実行)として決め、破ったら警告通り実行します。
- ③くどくど型
言いたいことをくどくどと話し続けるタイプ。今、怒っていることだけではなく、以前の話まで出てきて、小言が止まりません。子供は、ただ終わるのを待っている状態になってしまいます。
⇒子供が「気付ける」対策を取ります。(例：見たら思い出せるような目印を付ける、等。)
- ④説得で安心型
ダメなことをした子供に、とりあえず謝るように説得し、謝ったら安心して終わってしまう叱り方です。謝ったことで、その場は解決したように見えるため、子供は「謝ればいいんでしょ」と思ってしまいます。
⇒子供がなぜそうしたかに目を向け、繰り返さない方法を教えます。

望ましい行動パターンを子供に教えるときには、言葉で伝えるだけでなく、いろいろな方法で子供にヒントを出したり、行動のきっかけを作ったりといった工夫をすることも大切です。「こんなふうに伝えたら、子供が前向きに取り組んだ!」といった情報を、ぜひ、今後とも家庭と学校とでたくさん共有していきたいです。

<引用・参考文献>発達の子の「困った」を「できる」に変えるABAトレーニング 小笠原恵・加藤慎吾著/ナツメ社

巡回指導カレンダー 7月

行事等の関係で変更があった時は、連絡帳等でお知らせします。

	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)
	堀船小 滝野川第四小 出張あり	堀船小 滝野川第五小	堀船小 滝野川第四小	堀船小 滝野川第五小
7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
滝野川第四小 滝野川第五小	堀船小 滝野川第四小	堀船小 滝野川第五小 出張あり	堀船小 滝野川第四小	堀船小 滝野川第五小
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
滝野川第四小 滝野川第五小	堀船小 滝野川第四小 出張あり	堀船小 滝野川第五小	堀船小 滝野川第四小 出張あり	指導予備日
夏 休 み				
9月1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)
指導予備日	堀船小 滝野川第四小 出張あり	堀船小 滝野川第五小	堀船小 滝野川第四小	堀船小 滝野川第五小